



発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシテイビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。 題字：栢木寛照

えとす

平成19年 6 月号
No.193

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

突如浮上した年金記録問題 油断ならない西田昌司陣営



街頭で訴える安倍首相(渋谷駅ハチ公前)

年金への不信を払拭するために全力を挙げて対応に取り組んでいるが、状況は厳しい。三年前の参議院選挙は国民年金の保険料未納問題が大きな争点となり、自民党は敗北を喫した。自民党参議院幹部は、今回の選挙で、与野党の議席が逆転する可能性がありうる。再三危機感を訴えているが、現在の情勢では年金問題が沈静しない限り現実味を帯びてきた。

昨年九月に発足以来、安倍内閣は小泉内閣時代に歴史認識問題で関係がギクシャクしていた中国、韓国をいち早く訪問、両国との関係修復に努めた。しかも、懸案であった防衛庁の省への昇格、教育基本法の改正も実現した。その間、佐田行革大臣の政治資金収支報告書への虚偽記載、柳沢厚生労働大臣の「女性は子供を生む機械」発言などがあつたが、強気で批判をかわして、高い支持率を維持し、比較的順調な政権運営であつた。ところが今度は松岡農林水産大臣の政治資金管理団体の光熱水費問題が浮上してきた。これも何とか乗り切れそうに見えていたが、緑資源機構の官製談話が発覚、松岡大臣の後援会関係者が関与していたことが明らかになつた直後、松岡大臣は自らの命を絶ててしまった。安倍総理には大臣の任命権者としての責任が問われている。加えて年金の記録問題が登場、今や年金問題が国民の最大関心事となっているかの感がある。安倍内閣は国民

自民党に厳しい選挙環境



西田昌司
美しい精神と自然。
日本の首肯を取り戻せ!!



二ノ湯 智
自民党 参議院議員

西田昌司事務所 開設のお知らせ

7月22日に執行予定の参議院通常選挙で京都選挙区より自民党公認候補として立候補予定の西田昌司氏の事務所がこのほど開設されました。河原町通に面し、人通りの多い、交通至便な場所です。なお、事務所には駐車場はありません。

〈場所〉 〒604-8033
京都市中京区河原町通蛸薬師上ル西側

TEL : 075-256-1234 FAX : 075-256-1233



参議院総務委員会 二ノ湯議員、統計法で質問

昭和22年に制定された統計法の全部を改正する法律案が提出され、去る5月15日、参議院総務委員会で審議された。二ノ湯議員は自民党を代表して質問に立った。主なやりとりは以下の通り。

☆二ノ湯議員…まずは、今回の改正の経緯、趣旨、目的を聞きたい。

☆橋口政策統括官…今回の改正は、公的統計の基本計画を策定すること、統計データの利用促進策を講じること、調査審議を行う統計委員会を内閣府に設置することを主な内容としている。これによって社会の情報基盤である公的統計の効率的な整備と有用性の確保が図られる。

☆二ノ湯議員…今回の改正で、内閣府の統計制度改革検討委員会、基本的視点として、「行政のための統計」から、「社会の情報基盤としての統計」への転換を目指すとしているが、これは具体的にどのような統計なのか。

☆橋口政策統括官…「行政のための統計」とは、公的統計が、国や地方公共団体の政策立案や実施のための指標となるということ、「社会の情報基盤としての統計」とは、事業所や国民など

のためにも広く利用される統計という意味である。今回の改正で、より社会のニーズに応じた統計が整備され、統計データの二次利用の拡大により、新たなニーズに対応した統計の利用が図られると考えられる。

☆二ノ湯議員…近年、国民のプライバシー意識の向上や統計に対する認識の低さなどから調査をめぐる環境は非常に厳しくなっている。また、在宅ワーク等、企業実態が把握できない事業所が増加し、実際の調査対象を捉えるのが困難である。実際、どのような調査環境状況なのか。

☆川崎統計局長…単身や共働き世帯の増加で、調査員が調査対象世帯になかなか接触できない状況があり、統計調査をめぐる環境は年々厳しくなっている。しかし、地方公共団体とも連携し、調査方法の工夫などによって統計調査に対する国民の協力を得たい。

☆二ノ湯議員…今回の改正で、学界等からの要望に応じて統計を作成するオーダーメイド集計や個人・企業の識別が不可能なようにして、匿名データ提供も行うことが盛り込まれている。これらは、非常に便利なサービスだと考えるが、その対象が、学術研究の発展に資する場合と限定されている。なぜこの様に限定したのか。また、将来対象を拡大していく方針はあるか。

☆橋口政策統括官…データの提供先を限定している理由は、営利目的のみに用いられるデータを提供すると、国民の統計

調査に対する信頼を損なうおそれがある」と判断しているからである。更なる統計データの二次的利用については、運用の状況等を見極めながら検討していく。

☆二ノ湯議員…統計は、社会の姿を映す鏡であり、また進むべき針路を示す羅針盤であり、さらにまた社会のメカニズムを解明する内視鏡でもあると言われている。人口減少や国際環境の変化の中で、国力の成長基盤を確立するために統計の改善は極めて重要である。統計改革に向けた大臣の決意を伺いたい。

☆菅総務大臣…政府全体として公的統計の体系的整備を進め、我が国の統計が社会の姿を適時適切に反映できるように精一杯努力をしていきたい。



質問する二ノ湯議員

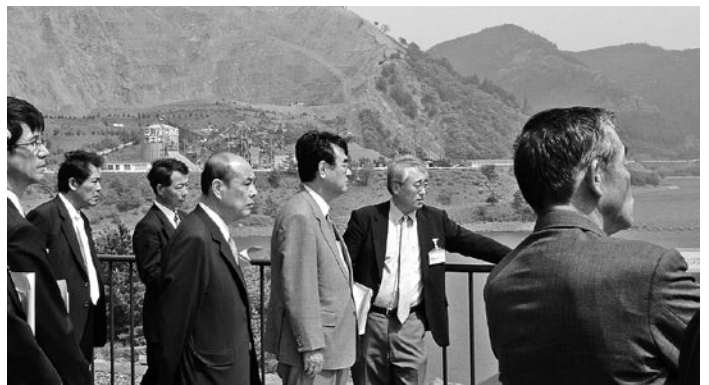
恒心

★厚労省の調査によると、国民が老後において最も関心が高いのは、健康問題である。20才から70才以上の平均を取ると、健康が心配と考えている人が50%以上を占め、生活費と答えた人は約3分の1である。家族とのつながり、生きがい重視する人はそれほど多くない。★しかし、健康にしてもいざ病気がかかれば、たちまち医療費が必要になるし、家族とのつながりもお金のない老人は、子どもや孫にも相手にされないことを考えると、多少の蓄えもなければならぬ。生きがいは心の問題だとしてもお金がなければ、自己啓発も出来ない。生活費よりも健康が大事だと答えた人は安定した年金、即ち収入が入ってくるという前提に立っているのではないだろうか。★この年金が今大きな問題となっている。持ち主が分からない「宙に浮いた年金記録」が5千万件もあることが明らかになった。年金は国がきちんと管理し、支給資格ができた時に納めた保険料に応じて、年金が支給されるものだと全ての国民は信じている。しかし年金保険料納付記録漏れの発覚によって、今もらっている年金額は正しいのかどうか疑ってしまう。★組合が強い社会保険庁はお役所仕事の典型であると各方面から批判されている。政府は社会保険庁を解体し、非公務員型の組織を作る方針を決めた。今度こそ、年金不安を払しょくし、国民が本心に信頼出来る、国民に目を向けた年金機構を作ってもらいたい。

琵琶湖総合保全小委員会 琵琶湖の 渇水状況を視察

近畿千二百万人の水がめである琵琶湖が今年は何年になく水位が低下しており、5月25日現在、マイナス19センチで、この状態が続けば真夏になると深刻な影響が出てくる。例年5月頃、琵琶湖の水位は、平均でプラス11センチであるが、今年は雪が少なく、しかも4月に雨が降らなかったことが大きい。自民党近畿圏の選出議員で結成している琵琶湖総合保全小委員会(山下英利委員長)では、近畿圏において今夏に大規模な渇水が発生する恐れがあることから、その対策に万全を期すために、現地視

察を行った。まず最初に琵琶湖への最大流入河川である野洲川の上流に位置する青土ダム(甲賀市土山町)の貯水状況を視察した。平年より水位が約2メートル低下しており、下流の地域では灌漑用水、飲料水にも影響が出始めている。視察後、嘉田滋賀県知事も出席して、大津市内のホテルで会合を開いた。国土交通省近畿地方整備局長より、降雨・降雪状況、今後の琵琶湖水位変動予測に関する報告を受け、その後の質疑応答では、渇水対策、南湖再生への取り組み、生態系への影響についての対応策などの意見が出された。上下水道のほぼ100%を琵琶湖に依存している京都府、市民にとって、琵琶湖の水位低下は大変気になることである。



青土ダムを視察する二ノ湯議員

二ノ湯真土さん 府議会初登壇の印象と決意

何よりも、歴史と伝統ある府議会に恥じない活動をしたい。政治は、人生に直に向き合う仕事だ。どれだけ辛酸を舐めてきたか、人生経験が大いにものをいう。しかし、若さには活力がある。経験が不足するならば、誰よりも現場に足を運んで勉強をすればいい。役人と交渉するための知識を得るのは勿論のことだ。

また、若さには新鮮な感覚がある。政治・行政の世界にも独特の慣習があり、おかしいものもある。朝日新聞で報道された「1分議会」などもそのよい例だ。本会議で議長が決まらず議事が進まないのはおかしい。人事は議会運営の要だから、会派間で妥協なく交渉するのは当然だが、会期前に済ませれば良い。こうしたことに対して、府民の代表として「おかしい」と感じられる当たり前の感覚を持ち続け、しっかりと主張をすることが大切だと痛感した。

京都市内に府会議員は不要とも言われるが、府政には市民に関わることも多い。しっかりと働き、「えとす」に習って説明責任も果たしたい。



大極殿復原工事を視察する二ノ湯議員

学研都市議連 奈良平城京跡、 関西学研都市を視察

京都府、大阪府、奈良県にまたがる広大な京阪奈丘陵における関西文化学術研究都市建設の早期実現を強力に推進することを目的に関西選出の国会議員を中心に関西文化学術研究都市推進議員連盟(谷垣禎一会長)を結成している。議連では、去る5月28、29日の2日間にわたって現地視察を行った。初日は古都奈良の文化の中心である飛鳥宮、藤原宮の旧跡、興福寺を訪ねたが、京都とは違った歴史の重み、深さを実感した。28日は平城宮跡に行き、現在復原中の大極殿の工事現場を視察した。大極殿は平城京遷都千三百年を迎える平成21年の完成を目指している。次いで奈良先端科学技術大学

院に行き、最先端のロボット、日本に3台しかない超高压電子顕微鏡などの説明を受けた。この大学院は知名度こそ低いが世界でトップクラスの研究開発を行っている。将来ノーベル賞を受賞する研究者が出る可能性が高い。その後「けいはんなプラザ」に場所を移して、意見交換会を行った。この会には、荒井正吾奈良県知事、荒巻禎一関西学研都市推進協議会会長、長尾眞国会図書館長、関係自治体の市長、町長らが出席した。色々な意見が出されたが、東の筑波学研都市のように発展するためには、交通アクセスの整備が重要であるとの声が多かった。



京都府庁議会棟玄関前にて

第171回 みんなで歩こう湯歩会(参加者170名)



美山かやぶきの里にて

第172回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：6月24日(日) (小雨決行)
- ・出発時刻：午前9時(時間厳守)
- ・集合場所：地下鉄丸太町駅1番出口
- ・コース：京都御所内→寺町御門→荒神橋→京都大学構内→吉田神社→湯川記念館→知恩寺(百万遍)解散
- ・今回は京都大学の記念時計台など吉田キャンパスと吉田神社を参拝します。

*7月の湯歩会は、参議院選挙投票日予定のため休会いたします。ご了承ください。

(当日)090-1956-7460

歩くことは 健康の基本

6月9日、全国17政令指定都市の自民党市会議員で構成している政令指定都市議会議員連盟総会が大阪府で開かれ、234人の議員が参加した。役員任期満了にともない、役員選考が行われた結果、新会長に井上与一郎氏が選出された。京都市が会長を務めるのは木俣秋水氏以来、23年ぶりである。就任の挨拶で井上氏は「先輩の方々が築いてこられた実績を継承し、議会制度の改革と若い議員の活動の強化に取組みたい。当面は来るべき参議院選挙での自民党の勝利に向けて頑張っていこう」と議員連盟の一致団結を訴えた。

自民党全国指定都市議員連盟総会 会長に井上与一郎氏(京都市議)を選出

一、松岡農水大臣の自殺には驚いた。第一報を秘書から聞いたとき、まさかと思つた。向こう意気が強く、少々のことではへこたれないという印象であった。他人には松岡氏の心情は分からないが相当追い詰められていたのではないか。

一、参議院での自民、民主両党の党首討論に出席した。当日の論点は社会保険庁による年金納付記録不明問題であった。会場は双方の応援団で超満員。しかし、野次が多く、十分に聞き取れなかった。特に民主党の若い議員の声が大きく、発言を妨害するほどであった。相手の意見を聞くだけの度量を持つてほしいものだ。

一、奈良は京都の隣。しかし、なかなかそちらへ足が向かない。歴史が古くて馴染みがないのも理由の一つかも知れない。先日、奈良へ行き、興福寺、平城京の遺跡を訪ね、日本の歴史の底深さと、日本人の偉大さを改めて思い知らされた。

一、先月の「歩こう会」は京北の常照皇寺、美山かやぶきの里のコース。企画が良

身辺雑記



懇親会にて挨拶する井上新会長

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました

<http://www.ninoyusatoshi.com>

かつたために随分とたくさんさんの参加があった。里を眺め、田んぼの畔に腰を掛けて食べた心尽くしの弁当のおいしかったこと。歓迎してもらった地元の人々に感謝したい。

一、親子四人が北朝鮮から小船に乗って日本海を横断、青森県の深浦港に漂着した。食糧事情が極端に悪く、やむに止まらず脱北しようだ。日本政府は昨年成立した北朝鮮人権侵害対処法に基づき保護し、本人達が希望する韓国へ送る方針。人道上、当然とは思いますが迅速に対応してよかった。